

筒井

筒井校区 第一次

ふくしのまちづくり計画



人をつなぎ 地域を拓き 未来を創る

2025

▶ 2029



ごあいさつ

日頃から筒井校区社会福祉協議会の活動に、ご理解とご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

筒井校区社協は平成12年に設立し、設立25年目を迎えます。筒井校区は近年、多くのマンションが建設され若い層の転入も増え、校区の高齢化に歯止めがかかったと数字的には思われます。しかし社会福祉協議会、自治会、まちづくり協議会、市民センターなどの昼間の地域活動にはまだまだ高齢者の活躍が欠かせません。この活動を次世代に引き継いでもらうためには、地域の多世代の方々と連携を図っていかなくてはなりません。子どもたちに、ここに生まれ育った事に愛着と誇りを持ってもらうために、私達は努力し、協働していこうと思います。

今回、地域の福祉活動をより充実するために5カ年を第一歩として、小地域福祉活動計画を策定いたしました。課題を共有し、持続可能な地域を目指し一つの活動を確認しながら進めていきたいと思えます。

月に2回開催している「サロン活動」では、居場所づくりと多世代交流、安否確認など多くの目的を持って取組んでいます。

令和6年度から始まった「春まつり」は子どもの企画を大人がサポートすることで、子どもたちが夢を実現することの喜びを、そして協働することの楽しさを味わって欲しくて計画しました。そして保護者の参画も期待しています。

現在取組んでいる地域の活動を把握し、手を結んで行くことで新たな一歩が踏み出せる事を祈念しています。

「小地域福祉活動計画」を推進するために、地域の皆様のご指導と励ましを今後とも宜しくお願いいたします。

この計画を策定するに当たり、策定委員の皆様、八幡西区社協のご協力とご尽力に感謝申し上げます。

令和7(2025)年3月



筒井校区社会福祉協議会
会長 四宮 嵩世

もくじ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 筒井校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目(体系図)	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	6
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	7
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、筒井校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、筒井校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 筒井校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和7(2025)年度～令和11(2029)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

筒井校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、筒井校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、筒井校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 筒井校区の現状と課題

1 地域の特性

	平成 6(1994)年	平成 21(2009)年	令和 6 年(2024)年
世 帯 数	1,823 世帯	2,378 世帯	3,393 世帯
人 口	3,953 人	4,554 人	5,824 人
14 歳 以 下	541 人 (13.7%)	512 人 (11.2%)	669 人 (11.5%)
15 歳～64 歳	2,843 人 (71.9%)	3,193 人 (70.1%)	3,897 人 (66.9%)
65 歳 以 上	569 人 (14.4%)	849 人 (18.6%)	1,258 人 (26.1%)
市民センター	筒井市民センター	小 学 校	筒井小学校
地域包括支援センター	八幡西 4	中 学 校	熊西中学校

筒井校区は、八幡西区の北東部、北九州市の副都心、黒崎地区の隣に位置しています。昔から古い住宅と新しい高層マンションの街並みが入り混じり八幡西区役所が転居した跡地には大規模マンションが建設されました。

交通機関としては西鉄バス・市営バス・筑豊電鉄が走り、JR黒崎駅も近く、国道3号線と国道200号線が校区内を通り利便性は良いです。近くにイオンタウン黒崎をはじめとする商業施設や黒崎地区商店街、小・中学校、警察署、郵便局、医療機関も多く、生活の利便性も高い地域です。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●助け合いのできる優しいまちをつくりたい

近所付き合いが少なくなり行事が減って、地域の人とのふれあいが少なくなりました。手助けの必要な人も増えています。新しく引っ越ししてきた方との交流が難しく、自治会の加入率も減少傾向にあります。

●新たな活動者や応援者を増やしたい

地域活動や行事への活動者や地域団体のリーダーが高齢化してきており、メンバーも固定化されつつあります。見守り活動や様々な地域行事を継続していくためにも、新たな担い手や活動を応援してくれる人を増やします。

●地区どうしの交流が少ない

主要道である国道200号線が校区を隔てる形になっています。そのため、地区間の住民の行き来が少なく交流活動も活発とは言えません。地域行事での一体感があぐくまれるよう多くの世代が気軽に参加できるような工夫が必要となります。



第3章 計画体系

筒井校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

1 基本理念

「人をつなぎ 地域を拓き 未来を創る」

2 基本目標

(1) 人をつなぎ育てるまちづくり

大人の背中を見て、子どもは育ちます。祇園山笠が地域に2つあり、子どもの育成に大きな関わりがあります。皆が楽しく参加できるような地域の行事を皆で考え、子どもから大人まで進んでボランティア活動ができるようなシステムを考えていきます。

(2) 地域の輪（和）と居場所づくり

赤ちゃんから高齢者まで参加できるサロンを目指し、参加者が、お客様ではなく助け合うサロンを引き続き行っていきます。顔を合わせることで、困りごとの相談や安否確認も出来、子ども食堂も子どもの居場所から、大人も含むみんなの居場所になるようにしていきます。

(3) 歴史を学び未来へつなぐ

長崎街道や一宮神社、黒崎祇園山笠の行事など地域には古い歴史があります。若い世代や転入者に、歴史や文化を正しく継承していくことは大事なことです。子どもたちをはじめ地域の方々には、歴史や文化を学ぶ機会を増やしていきます。

(4) 支え愛、助け愛はお隣さんからがまず一歩

見守り活動は、肩ひじ張らずにまずお隣さんから始めませんか。始めの一歩は、声かけから。日常のつながりが、日常生活の困りごとの解決や災害時の安心安全につながる最大のツールになるように活動していきます。



3 実施項目（体系図）

基本理念 人をつなぎ 地域を拓き 未来を創る	基本目標	主な取組み
	まちづくり 人をつなぎ育てる	<ul style="list-style-type: none"> 筒井市民センターだより、講座（社協・まち協・市民センター） 筒井あじさいコンサート（まち協） 防犯パトロール（まち協） つついふれ愛文化祭（まち協・文化祭実行委員会） 筒井市民防災会 黒崎祇園山笠（山寺・熊西）
	居場所づくり 地域の輪(和)と	<ul style="list-style-type: none"> 筒井校区社協連絡調整会議（社協） 筒井ふれあいサロン（社協） ウェルクラブ（社協） 筒井春まつり（社協） 高齢者の見守り活動（社協） 元気食堂（ボランティアグループ元気）
	未来へつなぐ 歴史を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 黒崎祇園山笠（山寺・熊西） 夏まつり（黒崎第4自治区会） 一宮神社の奉仕活動 新地大日堂の奉仕活動 地域の歴史や文化を学ぶ活動
	まず一歩 支え愛、助け愛は お隣さんから	<ul style="list-style-type: none"> 筒井ふれあいウォーキング大会（まち協） 子育て支援（市民センター） 熊西保育園との交流 元気食堂（ボランティアグループ元気） 災害時の助け合い活動

4 重点実施項目

重点実施項目		地域活動の活性化と次世代との交流					
1 課題背景及び地域の現状							
若い世代やマンションへの転入者の増加により、高齢化率は減少しました。反面、町内会に加入していない人が増えてきています。そのため、若年層との交流の機会が少なく地域活動への導入が遅れてきています。地域活動への参加を促す工夫が必要になります。							
2 活動の方針・目標							
様々な世代へ地域の情報を発信できるように、広報活動を強化していきます。また、春まつりなど、子どもや保護者などが参画できる場をつくり、親子で福祉活動やまちづくり協議会や自治区会活動に興味を持ってもらえるように取り組みます。							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考
広報活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇まち協 ◇自治区会（町内会） ◇市民センター 	計画・実行・評価・改善					<ul style="list-style-type: none"> ・自治区会未加入世帯にも周知できるような活動 ・HPの充実と広報活動の工夫と強化（PDCAの重視）
ボランティア講座と実践	<ul style="list-style-type: none"> ◇小学校 ◇学童クラブ ◇区・市社協 ◇市民センター 	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加型と高齢者との交流を取り入れる ・市民センター講座とのタイアップ ・神社等での奉仕活動の実践 ・毎年見直しを行う
地域の歴史や文化を学ぶ活動	<ul style="list-style-type: none"> ◇山寺・熊西の実行委員会 ◇まち協 ◇小学校 ◇市民センター 	実践・見直し					<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りや歴史について世代を超えて学び合う場をつくる ・市民センターや小学校での公開講座の実施
親子や地域住民が楽しめる交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◇まち協 ◇自治区会（町内会） ◇市民センター ◇ボランティアグループ元気 	計画	→				<ul style="list-style-type: none"> ・春まつり、夏まつり ・ニュースポーツ大会など ・地域行事とのタイアップ ・こども食堂を幅広い世代に（元気食堂）
日常的な見守り活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇まち協 ◇自治区会（町内会） ◇民見協 	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所への声かけの推奨及び強化 ・声かけの仕方の学習会の開催 ・地域住民の困りごと等への対応の充実

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、筒井校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

筒井校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料 【筒井校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 筒井校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	四宮 嵩世	筒井校区社会福祉協議会	会長	
2	山名 由貢	筒井校区社会福祉協議会	副会長 事務局長	
3	田中 敏博	まちづくり協議会	会長	
		黒崎第4自治区会	会長	
4	岡石 隆文	筒井地区民生委員児童委員協議会	会長	
		黒崎第7自治区会	会長	
5	大八木 立身	筒井校区社会福祉協議会	総務部会	
6	定元 美代子	筒井校区社会福祉協議会	会計	
7	有田 靖子	筒井校区社会福祉協議会	会計	
8	上村 栄子	筒井校区社会福祉協議会	地域交流部会	
9	尾野 旬子	筒井校区社会福祉協議会	理事	
10	門司 茂美	筒井校区社会福祉協議会	ネットワーク 部会	
11	辰川 律子	筒井地区民生委員児童委員協議会	民生委員・ 児童委員	
12	岡崎 福代	筒井地区民生委員児童委員協議会	民生委員・ 児童委員	
13	濱 直美	筒井地区民生委員児童委員協議会	民生委員・ 児童委員	
14	川本 早苗	筒井地区民生委員児童委員協議会	民生委員・ 児童委員	
15	長谷川 香子	筒井市民センター	館長	
16	二上 員好	熊西保育園	園長	

(令和7年3月31日現在)

2 筒井校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R5年8月31日(木)	第1回策定委員会 ・地域の困りごと、課題を共有 ・既存活動、資源の洗い出し
2	R5年9月22日(金)	第2回策定委員会 ・第1回で話し合った内容を代表者が発表
3	R7年2月13日(木)	第3回(令和6年度第1回)策定委員会 ・各地域団体の取組の洗い出し
4	R7年2月27日(木)	第4回(令和6年度第2回)策定委員会 ・体系図(案)の作成
5	R7年3月7日(金)	第5回(令和6年度第3回)策定委員会 ・体系図、基本理念、基本目標、重点実施項目の決定 ・計画書及び概要版の構成、編集



社会福祉協議会のイメージキャラクター
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス≡恐竜)



筒井校区社会福祉協議会

〒806-0030 北九州市八幡西区山寺町 6-30 筒井市民センター内
TEL 093-641-3407 FAX 093-644-3687

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351